

## おにぎり山をきれいにしよう

鳴見台小学校区コミュニティ協議会が、大岳（通称：おにぎり山）の登山道の環境整備に取り組んでいます。5月18日（土）に第1回目として協議会のメンバーを中心として現在の登山道の現状を把握するため、下見として山頂まで登り（広報誌7月号掲載）、10月6日（日）、今回はその2回目として8名が参加し、山頂の四方に生い茂った草木（主に低木）を伐採しました。継続的な作業が必要で、来年度も引き続き行うこととなりました。みなさま、おつかれさまでした。



## 鳴小みらいトークが開催されました！

9月27日（金）鳴見台小学校区コミュニティ協議会による「鳴小みらいトーク」が開催され、まちづくり活動と地域子育てで憲章制定の経過報告が行われました。鳴見台小学校区で日頃から地域の子育てを応援している方々が集まり、地域における子育てをテーマに「子育てしやすい地域とは？」「子育てしやすい地域をつくるために私たちに何ができるのか？」等を熱心に議論しました。今回の話し合いで出された意見をもとに、検討委員会で議論を重ね、地域子育て憲章の草案をまとめる予定です。



## 三重小学校のイモ畑草刈り・稲刈りが行われました！

三重小学校区まちづくり協議会の農業体験事業として、三重小学校1・2年生によるイモづくりが行われています。今回は、協議会の役員さんたちが秋の収穫に向けて畑の草刈りを行いました。9月の中旬、曇一つない晴天で大変暑い中、熱心に作業をされていました。畑の外側は草刈り機で、畑の中は手作業で草抜きを行っていききました。雑草の中にはサツマイモの茎に似たツル状のものもあるので、それらを見分けながら丁寧に根元から雑草を引き抜いていききました。この除草作業によって、収穫の時期には、サツマイモもきっと丸々と実っていることでしょう。

また、10月10日は、6年生36人による稲刈りが行われました。児童たちはそれぞれ稲を刈る、束ねる、紐で縛るのグループに4～5人ずつ分かれて作業を行いました。束になった稲ははぜかけ（稲かけ）に掛けて天日干しに。役員の野本さんは「農業体験を通じて食の大切さを子どもたちに理解して欲しい」、同じく小里さんは「来年以降も続けていきたい。子ども達に農業に興味を持ってもらいたい」とお話しされていました。児童からは、「稲刈りは初めてだったけど、米作りの大変さを知れたので、これからはお米を大切に食べたい」、「米作りの大変さを知ったので、お米一粒一粒を残さず食べたい」との感想が。地域の方々との米作りは子ども達にとって貴重な経験になったことでしょう。

同協議会では、収穫したお米を使ってかんころもちを作る予定です。



三重地域センターのホームページはこちら



Xはこちら



Facebookはこちら



# 広報 三重地域センター 令和6年11月号

長崎市役所 三重地域センター R6.10.17 No.43号  
〒851-2204 長崎市三重町1098番地1  
業務時間 平日8:45～17:30  
電話 095-850-1111 / FAX 095-840-1001  
E-mail: br\_mie@city.nagasaki.lg.jp

三重地域センター管内人口19,838人(男9,626人 女10,212人)8,600世帯(令和6年9月末現在)

## 畝刈小学校区まちづくり協議会 第1回合同部会開催

9月29日（日）、畝刈小学校区まちづくり協議会が発足して初めての合同部会が開催され、三つの部会に分かれて、地域の課題解決に向けた具体的な事業について活発に意見が交わされました。

「地域活性化・伝統文化継承」部会では、桜が多く植えられている公園を会場に、交流イベント「(仮称)さくらまつり」の開催、「安全安心・防災」部会では道路の安全安心対策、「こども・自然・生活環境」部会では子供の遊び場づくりなど、様々な対策が議論されました。

今後、事業計画や予算の案が取りまとめられ、総会ではかられることとなります。



## 三重ニュータウン祭り開催

10月6日（日）、京泊第一公園で三重ニュータウン自治会（西田正伸会長）恒例の自治会加入促進も兼ねた楽しい地域交流イベント「三重ニュータウンまつり」が開催されました。ちびっこからお年寄りまでたくさんの住民の人々が集まり、チーム対抗の輪投げやボーリング、ラムネ早飲み競争などで盛り上がりました。勝ったチームや個人には様々な景品が用意され、子どもたちもうれしそうでした。会場全体が和気あいあいとした雰囲気でも元気で笑顔にあふれたイベントでした。



## 第28回三重地区みなと祭りが開催されました！

10月12日（土）三重地区みなと祭り実行委員会の主催により盛大に開催されました。地域の方々のふれあい・憩いの場として定着している「三重地区みなと祭り」ですが、実行委員会のメンバーがさらに盛り上げようと、さまざまな工夫を凝らして準備をしてきました。今年も地域の方々に喜んでほしいという熱意が実り、お天気にも恵まれ大変な賑わいとなりました。「子どもステージ」ではたくさんのお子さん達が演奏やダンスなど日頃の練習の成果を発揮。毎年大人気の「企業ピンゴ」も豪華景品に大歓声が響いていました。「子どもカラオケ大会」は大人顔負けの歌声とかわいらしいダンスに釘付けになりました。三重地区公民館で日頃練習を重ねている「三重合唱クラブ」も美しい歌声を披露してくださりました。「大人カラオケ大会」では「明治安田生命」職員の方々が迫力満点の歌唱力を発揮し見事優勝。「にしうみ太鼓」「海綿隊」に続き「RAINBOW MUSIC」のライブパフォーマンスで会場の熱気はピークに達したところで、打ち上げ花火が月夜を彩りました。昨年より2倍の花火に会場全体が感動に包まれ、花火のフィナーレでは拍手喝采でした。ステージでは最後まで「RAINBOW MUSIC」の歌声が響き、祭りの余韻を楽しむ人々で溢れていました。地元を中心にしたたくさんのお店も賑わい、どこも長蛇の列ができ大繁盛でした。実行委員会の濱口委員長は「皆さんのおかげで今年も実行できた。子ども達の笑顔が見られて良かった。良い思い出になって欲しい」と振り返っていました。



## 長く元気で！市長表彰 おめでとうございます



長崎市では、高齢者ふれあいサロン等に積極的に参加されている90歳以上の方を各団体から推薦いただいて表彰しており、今年度は35名の方が授与されます。そのお一人、畝刈ハマグリ会に参加されている矢口美智子さんが激励賞を授与されました。

矢口さんからは、お菓子づくりや縫物、編み物をして過ごし、人に差し上げて喜ばれることが自分の喜びに変わり、感謝の日々を過ごしています、とのコメントをいただきました。

また、会を主宰する川原タツエさんからは、「月1回の集まりです。皆でほっこりした時間が過ごせるよう努めております。」、ピアノ伴奏等されている平子孝子さんからは、「童謡や昔懐かしい曲を歌っています。回を重ねる毎に声がよく出て、これからも楽しみです。」とのコメントをいただきました。



10月12日（土）、爽やかな秋空の下、櫻山認定こども園の運動会が開催されました。子ども達は会場内を裸足で駆け回り、元気にたくましく成長した姿を見せてくれました。みんな弾けるような笑顔で、楽しそうに参加している姿が印象に残りました。

また、三重体育館では三重保育園の運動会が開催されました。かけっこでは保護者の方々の大声援が飛び交い大盛り上がり。0歳児のハイハイレースではあまりの可愛さにあちこちから歓声が聞こえました。

温かな雰囲気の中、子どもたちはのびのびと身体を動かし、練習の成果を発揮していました。地域の方々もたくさん集まり、子どもたちが頑張る姿を見守りました。豊かな自然と地域の方々のおかげで、健やかな成長を感じました。



## うんどうかいがんばったね！